

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分
 【発行日】平成24年6月14日 (2012.6.14)

【公表番号】特表2011-522980(P2011-522980A)
 【公表日】平成23年8月4日 (2011.8.4)
 【年通号数】公開・登録公報2011-031
 【出願番号】特願2011-510818(P2011-510818)
 【国際特許分類】

E 0 5 B 65/20 (2006.01)

E 0 5 B 65/19 (2006.01)

B 6 0 J 5/00 (2006.01)

【F I】

E 0 5 B 65/20

E 0 5 B 65/19 P

B 6 0 J 5/00 M

【手続補正書】
 【提出日】平成24年4月21日 (2012.4.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0 0 0 3】

さらに、モーターによるロック機構の開錠を確実にする、いわゆる開扉補助手段も周知である。このような開扉補助手段の一例は独国特許出願公開第 1 0 2 0 0 4 0 5 2 5 9 9 号明細書に開示されている。このような手段においても、最優先の目的は快適性をより高めることにある。

周知の開閉装置は、一般的に自動車ドアロックのハウジングに収容されるロック機構に通常直接連結される。前記ハウジングは通常各ドアに直接締着されているので、前記開閉装置の駆動部から生じる騒音は、構造に起因する騒音として自動車に伝達される。このような自動車ドアには通常多少の空洞部分があるため、共鳴が生じてこのような騒音が増幅される恐れがある。前記開閉装置はより高いレベルの快適な操作を達成することを目的とするのでこのような騒音は欠点である。このように快適な操作により高い騒音レベルまたは不必要な騒音レベルが伴う場合、たとえ操作がより行いやすくなったとしても、消費者は全体として操作を不愉快な経験と考える。本発明はこの状態を改善することを目的とする。

この出願の発明に関連する先行技術文献情報としては、以下のものがある（国際出願日以降国際段階で引用された文献及び他国に国内移行した際に引用された文献を含む）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

【特許文献 1】 米国特許第 5 5 8 6 6 4 6 号明細書

【特許文献 2】 独国特許出願公開第 1 0 1 0 0 1 5 4 号明細書

【特許文献 3】 独国特許出願公開第 1 0 2 0 0 4 0 5 2 5 9 9 号明細書

【特許文献 4】 欧州特許出願公開第 1 3 1 9 7 8 0 号明細書

【発明の概要】

【課題を解決するための手段】